



世田谷区立砧中学校 校長室より  
令和5年 3月13日  
第 59 号  
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」

- ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う
- ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う
- ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる

社会性の学び	知的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

## 1年の終わりに目を向けて

## 「自主・自律」「協働・共生」「創造・挑戦」

「昨日の自分と今日の自分は、どのくらい変わったか・・・」。

こんな質問をすると「そんなに変わってないよ」という答えが返ってきそう。

しかし、昨日と今日といった短い時間ではさほど意識しないが、長い時間だと随分変わっている、ということも多い。身長にしても、昨日と今日で大きな変化は見られないが、みんなの年齢だと、1年に10cmも伸びるということも多い。

心の中の変化もこれに似ている。昨日と今日で大きな変化が見られなくても、1年間で心の動き・感じ方・ものの見方が、大きく変わる人が多い。1年間の成長を振り返った時、良く変わっている面も、悪く変わっている面もあるが、全く変わっていない人はいない。

最近、授業で感じるのは、良い面では「長いスパンで自分の成長を実感できていること」、悪い面では「昨日と今日位の短いスパンでしかものを見ていないこと」だろうか。悪い面について少し詳しく言うと、「自分は変わっていないのに」「なぜ周囲から厳しく目で見られているのか」「自分は変わっていないのになぜ以前より厳しく言われるのか」といった考え方である。

中2では、2つの考え方（「長いスパンで成長を実感すること」と「短いスパンでしか物事を見られないこと」）が分かれ目になることがよくある。中学校時代の勝負は「2年生」とも言われる所以である。自分が頑張り続ける意識を持てる人は、日々少しずつ成長する。しかし、意識の持てない人は、少しずつ自分の価値観が悪い方向へ流され、気づけば意識のある人との「差」が極めて大きくなる。

1年の終わりにから3年のスタートまで、これまでの人生の中で一番の山場だと言っても良い。だからこそ、2年生での生活には、意識が必要であると思う。

これは保護者の皆様をお願いしたいのですが、心も身体も大きくなり、なかなか一筋縄では行かない時期を迎えているところですが、ここが一番大切な時期です。ここをきちんと自分の力で子供たちが乗り越えられれば、あとはなかなか崩れないものです。危ないものを感じたら逃がらずに正対していただきたいと思います。また、心配なことは学校にもお伝えください。

みんなも、今がひとつの勝負時。自分という1つの人格を、自分自身の手で作りあげていくための大切な時を迎えている。

時には、自分を甘えさせたりしてもいいが、甘えてばかりの自分では成長しない。時には、厳しく自分を見つめながら成長して欲しいと願うものである・・・。



これは、17年前、私が中1の担任をしていた当時の学級通信の年度末最終号です。

砧中に来て1年。私は、生徒の雰囲気や様子には違いはあるが、学校としてのねらいは、どの中学校も「差がない」と感じています。

「学校」とは ..... 「知的な楽しさと人間関係を学ぶところ」

「学校で学ぶ目的」は .....

(卒業後)「自主的に考え行動し、人として自律できること」

「他者を尊重しながら、他者と協働し、共生できること」

「自ら新たなものを創造し、前向きに挑戦し続けること」

学年・学級を終えるにあたり、生徒に何を残したいと思いますか・・・？